

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年09月19日

計画の名称	田布施町宅地耐震化推進事業（防災・安全）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和05年度（1年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	田布施町														
計画の目標	宅地耐震化を進め、災害時の被害を軽減するため、地震発生時に大きな被害が発生する可能性がある大規模盛土造成地の所在・規模等を調査・公表する。 さらに、安全性の把握を進めることで、災害リスクに対する住民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2	A	2	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R5末
1	大地震時等における宅地擁壁等の危険度を評価するための調査を実施した一団の造成宅地を0箇所から2箇所に増加（宅地擁壁等の危険度調査） 調査・測量、地盤調査、安定解析 調査実施箇所／2箇所	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A13-001																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	田布施町	直接	田布施町	－	－	宅地擁壁等の危険度調査	宅地擁壁等の危険度調査 2	田布施町	■					2	－	
												小計						2	
											合計						2		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
田布施町 建設課	令和6年9月
	公表の方法
	田布施町ホームページにおいて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	現地踏査を行い、擁壁等の危険度判定評価を行った。この結果と令和3年度に行った第二次スクリーニング計画優先度評価結果とを併せて検討を行うことで、個別の大規模盛土造成地に対する安全性調査の必要性を把握するとともに、当該調査の計画的な実施が可能となり、災害の未然防止や被害の軽減に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
町内2箇所の大規模盛土造成地において擁壁等の危険度調査を行った結果、安全性の把握が必要となった1箇所について、今後、第二次スクリーニングの実施時期を検討する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	